



平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月13日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン

上場取引所 東 大

コード番号 7608 URL <http://www.sk-japan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 敏志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 川上 優

TEL 06-6765-0670

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第3四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	7,176	4.3	287	15.8	287	2.0	118	△68.0
22年2月期第3四半期	6,879	—	248	—	281	—	369	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	14.36	—
22年2月期第3四半期	44.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	4,162	1,894	1,894	1,894	45.2	228.48
22年2月期	3,608	1,889	1,889	1,889	52.1	228.45

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 1,879百万円 22年2月期 1,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	6.00	—	8.00	14.00
23年2月期	—	6.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,100	△5.1	286	△42.0	278	△47.3	120	△60.3	14.59

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年2月期3Q	8,359,103株	22年2月期	8,359,103株
② 期末自己株式数	23年2月期3Q	133,606株	22年2月期	133,566株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年2月期3Q	8,225,514株	22年2月期3Q	8,225,759株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間は、アミューズメント業界向け販売部門と小売事業が苦戦しましたが、物販業界向け販売部門及びSP部門が好調に推移し、売上高は7,176百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は287百万円（前年同期比15.8%増）、経常利益は287百万円（前年同期比2.0%増）となりましたが、特別損失を102百万円計上したことにより、四半期純利益は118百万円（前年同期比68.0%減）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

①卸売事業

アミューズメント業界向け販売部門においては、チェーン展開しているオペレーターのシェア拡大を図るため、商品企画段階からの提案営業を推進しました。この結果、「まるねこくらぶ」「でぶねこ」等の自社企画商品を含めたオリジナル商品の売上高は1,720百万円（前年同期比14.2%増）と好調でしたが、路面店向けの販売が振るわなかったこと及び前年同期にヒットした「スージー・ズー」の反動等の影響により、売上高は3,046百万円（前年同期比10.5%減）となりました。

SP部門においては、雑誌の付録や食品メーカー等のOEMに加えて、新たな販路として開拓を進めていた製薬会社向け販売促進商品も受注が増加し、売上高は1,071百万円（前年同期比32.5%増）となりました。

EC部門においては、オリジナルキャラクターである「でぶねこ」のEC専用商品の開発と投入による他社との差別化や、出店モール内での広告展開や実店舗でのチラシ配布、他社サイトとのユーザー乗り入れ企画といった販促活動を実施しました。商品では、人気キャラクターのフィギュアやストラップ・雑貨等が好調に推移し、売上高は33百万円（前年同期比194.7%増）となりました。

物販業界向け販売部門においては、携帯電話関連グッズに人気キャラクターの商品が集中したことに加え、販売単価の高いスピーカー等の音楽関連商品がストラップで発売されたことにより、420百万円（前年同期比77.6%増）と大きく伸長し、これにより2,294百万円（前年同期比23.2%増）となりました。

以上の結果により、売上高は6,445百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は294百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

②小売事業

小売事業においては、「ナカヌキヤ」の既存店3店舗での売上高は前年同期比14.0%減となり、利益率の改善や経費の削減を進めましたが黒字には至りませんでした。

また、コスメ・フレグランスと雑貨の新業態である「SALAD BOWL」は、広島ASSE店（駅ビル）とTSUKASHiN店（ショッピングモール）の2店舗を出店し、計4店舗となりました。新規出店した2店舗はともに好調なスタートを切っておりますが、初期出店費用の負担から利益計上には至りませんでした。

以上の結果により、売上高は731百万円（前年同期比9.2%減）、営業損失は8百万円（前年同期は20百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて553百万円増加し、4,162百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加額255百万円、商品の増加額144百万円、受取手形及び売掛金の増加額84百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて548百万円増加し、2,267百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少額138百万円等により一部相殺されたものの、買掛金の増加額511百万円、短期借入金の増加額150百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4百万円増加し、1,894百万円となりました。これは主に、新株予約権の増加額4百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度に比べて255百万円増加し、1,079百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、192百万円（前年同期は269百万円の獲得）となりました。

これは主に、たな卸資産の増加額が144百万円及び法人税等の支払額が285百万円あったこと等により一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純利益が192百万円及び仕入債務の増加額が512百万円あったこと等を反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、6百万円（前年同期は237百万円の獲得）となりました。

これは主に、投資有価証券の売却による収入が18百万円あったこと等により一部相殺されたものの、有形固定資産の取得による支出が20百万円あったこと等を反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、75百万円（前年同期は53百万円の使用）となりました。

これは主に、配当金の支払額が74百万円あったこと等により一部相殺されたものの、短期借入金の純増額が150百万円あったことを反映したものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期の連結業績予想につきましては、平成22年10月13日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」から数値の変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,079,117	823,796
受取手形及び売掛金	1,364,134	1,279,830
商品	508,862	364,600
未収還付法人税等	78,574	—
繰延税金資産	24,349	15,603
その他	76,331	55,922
貸倒引当金	△8,528	△7,053
流動資産合計	3,122,842	2,532,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	528,599	526,955
減価償却累計額	△196,217	△185,868
建物及び構築物(純額)	332,382	341,087
車両運搬具	9,208	8,907
減価償却累計額	△6,083	△7,149
車両運搬具(純額)	3,124	1,757
その他	68,907	52,358
減価償却累計額	△48,732	△39,135
その他(純額)	20,174	13,222
土地	303,546	322,546
有形固定資産合計	659,227	678,613
無形固定資産	6,297	5,722
投資その他の資産		
投資有価証券	45,284	64,053
繰延税金資産	2,310	3,470
その他	345,840	345,199
貸倒引当金	△19,532	△20,928
投資その他の資産合計	373,903	391,794
固定資産合計	1,039,428	1,076,130
資産合計	4,162,270	3,608,831

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,163,659	651,975
短期借入金	500,000	350,000
未払法人税等	55,426	194,220
賞与引当金	96,340	41,611
その他	207,728	253,623
流動負債合計	2,023,154	1,491,430
固定負債		
退職給付引当金	117,201	104,733
役員退職慰労引当金	126,074	120,645
その他	1,527	2,682
固定負債合計	244,803	228,061
負債合計	2,267,957	1,719,491
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,948	440,948
資本剰余金	471,887	471,887
利益剰余金	1,017,466	1,014,501
自己株式	△51,134	△51,122
株主資本合計	1,879,169	1,876,215
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,814	4,246
繰延ヘッジ損益	△24	△1,340
為替換算調整勘定	△1,621	—
評価・換算差額等合計	167	2,905
新株予約権	14,976	10,218
純資産合計	1,894,312	1,889,339
負債純資産合計	4,162,270	3,608,831

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
売上高	6,879,746	7,176,277
売上原価	4,958,933	5,222,517
売上総利益	1,920,813	1,953,760
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	601,845	588,665
賞与引当金繰入額	89,472	96,340
退職給付費用	23,847	27,379
役員退職慰労引当金繰入額	—	5,428
その他	957,618	948,637
販売費及び一般管理費合計	1,672,783	1,666,451
営業利益	248,029	287,308
営業外収益		
受取利息	372	253
受取配当金	2,244	1,003
投資有価証券評価損戻入益	34,969	—
その他	11,654	9,774
営業外収益合計	49,240	11,032
営業外費用		
支払利息	6,239	4,246
投資有価証券売却損	6,708	—
為替差損	—	3,565
その他	2,346	2,982
営業外費用合計	15,293	10,794
経常利益	281,976	287,546
特別利益		
固定資産売却益	—	7,161
保険解約返戻金	107,095	—
前期損益修正益	59,022	—
その他	12,243	168
特別利益合計	178,361	7,329
特別損失		
固定資産売却損	519	110
減損損失	12,466	—
商品不良損失	—	102,630
特別損失合計	12,985	102,740
税金等調整前四半期純利益	447,352	192,134
法人税、住民税及び事業税	95,132	75,637
法人税等調整額	△17,245	△1,624
法人税等合計	77,886	74,012
四半期純利益	369,466	118,122

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	447,352	192,134
減損損失	12,466	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	48,465	54,728
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	5,428
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,728	78
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,218	12,467
差入保証金の増減額 (△は増加)	67,249	23,399
受取利息及び受取配当金	△2,616	△1,257
支払利息	6,239	4,246
投資有価証券評価損益 (△は益)	△34,969	1,832
保険解約損益 (△は益)	△107,095	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△337,247	△84,833
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△72,635	△144,437
仕入債務の増減額 (△は減少)	141,250	512,002
その他	△1,456	△94,840
小計	175,950	480,950
利息及び配当金の受取額	2,667	1,424
利息の支払額	△5,968	△4,242
法人税等の支払額	△4,328	△285,998
法人税等の還付額	101,144	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	269,465	192,133
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△23,232	△20,930
保険積立金の解約による収入	253,502	—
投資有価証券の売却による収入	44,883	18,819
その他	△37,653	△4,300
投資活動によるキャッシュ・フロー	237,500	△6,411
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20,000	150,000
自己株式の取得による支出	△127	△11
配当金の支払額	△33,721	△74,802
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,848	75,185
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,435	△5,585
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	445,681	255,321
現金及び現金同等物の期首残高	472,988	823,796
現金及び現金同等物の四半期末残高	918,669	1,079,117

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日）

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,074,527	805,219	6,879,746	—	6,879,746
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,008	—	6,008	(6,008)	—
計	6,080,535	805,219	6,885,755	(6,008)	6,879,746
営業利益又は営業損失(△)	266,754	△20,562	246,191	1,838	248,029

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）

	卸売事業 (千円)	小売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,445,082	731,195	7,176,277	—	7,176,277
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,906	—	2,906	(2,906)	—
計	6,447,988	731,195	7,179,183	(2,906)	7,176,277
営業利益又は営業損失(△)	294,557	△8,022	286,535	773	287,308

- (注) 1. 事業区分は、販売方法の類似性を考慮し、卸売事業、小売事業に区分しております。
2. 各事業区分の主な役務
(1) 卸売事業・・・キャラクターグッズ等のアミューズメント施設、物販専門店・量販店等への卸販売及び
電子玩具・電子雑貨等の企画開発
(2) 小売事業・・・キャラクターグッズ、化粧品、コスメティック等の小売
3. 営業費用のうち、配賦不能営業費用はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (7) 重要な後発事象

(退職給付制度の変更)

当社及び一部の国内連結子会社は、適格退職年金制度による退職給付制度を採用しておりましたが、平成23年1月1日付で、適格退職年金制度を廃止し、確定給付企業年金制度と退職一時金制度で構成する退職給付制度へ移行いたしました。この制度移行に伴う当連結会計年度の損益に与える影響額は103,981千円の見込みであります。